

道徳通信

泉大津市立誠風中学校

2024.4 道徳開き

発行者 道徳担当

道徳の授業が始まります

Q 「道徳」とは、どのような時間なの？

道徳は  心を育てる授業です。私たちが生きるとはどのようなことなのか。自分の生き方を考える、見つめる、思い描く時間、それが道徳の時間です。道徳の時間は、基本的に文章や詩を読み、自分が疑問に思ったことや感じたことを語り合い、考えを深めていきます。

Q 読み物を使う？「国語」と「道徳」は何が違うの？

国語には書き手の真意を読み取るという「正解」がありますが、道徳には、正解がありません。ひとりひとりが何を感じるのか。100人いれば100通りの感じ方や答えがあります。その自分の答えを大切にし、また、クラスメイトとの感じ方の違いから新しい自分に出会ってほしいと考えています。だから、**現在の自分と向き合い、これからどうなりたい、どうしていきたいのかを考える大切な時間**だということを意識しましょう。たとえ、授業で「んー、むずかしいなあ」とすぐに自分の考えが出なくてもいいのです。そんなときは、どういうことで悩んだのか隣のお友達や先生に話してみてください。すぐに答えられないということはよく考えている証拠です。そしてそれが道徳なのです。

「自分と向き合う・見つめ直す」というと【反省】といったマイナスなイメージを持つかもしれませんが、それは違います。何のために省^{かえり}みるのか…それは、新しい一歩のためです。道徳の時間を通して、**現在の自分としっかり向き合い今よりも輝く素敵な自分を思い描いてください。**

先生達は、みんなで意見を交流し、感じ方や考え方を広げられる道徳の時間を大切にしていきたいと思っています。みんなも道徳の時間を好きになってくださいね。

✿ みんなで作る道徳の時間 ✿

考えや思いを聴こう、伝えよう、そして  を広げよう。

道徳で大切にしてほしいこと

① 心を入れて聴く

道徳では読み物教材を中心に授業を行います。その時、先生たちは一生懸命、心を入れてお話を読みます。読み間違ふかもしれません。でも、先生たちも自分なりに読む練習をして、みんなを想って読みます。だから、みんなも心を入れて真剣に聴いてほしいです。

② 発表は積極的に

道徳の授業を充実したものにするためには、ひとりひとりの発表が大切です。「間違い」はありません。みんなのいろんな意見があつてこそ道徳の授業は成り立ちます。あなたの考え、思いを《すなお》に表現してください。

③ 語り合える雰囲気を作ろう

自分の考えを大切にすると同じように、クラスメイトの考えも大切にしてほしいです。あなたの考え方や可能性を広げるためには「他の人の考え」が大切なのです。自分の考えと違うな…と思うこともあると思いますが、どんな答えも大切に、クラスみんなが発表しやすい、語り合える雰囲気を作ってくださいね。～人の意見、考えは目と耳と心で聴こう～

④ 最後の感想には

毎授業の最後には感想を書く時間があります。そこにはあなたが道徳の時間に考えたこと、思ったこと、悩んでいたことや友達の言葉で良かったものなどを記しておきましょう。

あなたが自分の心(過去・いま・未来)を見つめられるすてきなノートになりますよ。

以上4つを意識して、みんなで充実した道徳の時間を作っていきましょう。